

福島のおゆき国会日誌

<予算案の衆議院通過を受けて>

22日に令和4年度の予算が衆議院を通過しました。これほど野党が不甲斐ない国会はこの四半世紀で初めてです。総理が答弁に立つ予算委員会は国会の花形の委員会と呼ばれています。それは予算がその政権のあらゆる政策の実行の根拠となるものだからです。予算審議は政権と野党との対立点を国民に明らかにして、次の選挙で審判をいただく材料を提供する意味で重要です。ただ、今国会の予算委員会での野党の質問は方向性や戦略がなく各党バラバラの状態でした。「検討、検討」を繰り返す岸田首相を始め抽象的な政府答弁に対して、野党は論点を掘り下げ、政権が何を考えているのかを具体的に明らかにする本来の役割を果たしていませんでした。



そのような状況は日本の民主政治の危機であると考え、私は野党第一党である立憲民主党の国会対策委員長に野党の意見交換の場を提案し、立憲、国民民主党、日本維新の会と有志の会で国会対策の実務者が集まりました。定期的な開催が一度は決まりましたが、立憲国会対策委員長は党内外からの批判に怯み、立ち消えとなりました。しかし、今後は国会での野党の役割がますます重要となってまいります。しっかりと取り組んでまいります。

<国土交通委員会 大臣所信聴取>

予算が衆議院を通過した後は各委員会で所管大臣の所信を聴取します。私が所属する国土交通委員会では25日に斉藤鉄夫・国土交通大臣の所信聴取を行いました。斉藤大臣はJCO事故の後に私が科学技術庁に出向した時にお仕えした立派な方です。来週から始まる質疑が楽しみです。



<有志の会メンバーとの対談>

予算審議の様子とウクライナ情勢について外務省出身の緒方林太郎衆議院議員と意見交換を行いました。情勢は刻一刻と変化していますが、このロシアの力による一方的な現状変更が、歴史の転換点になる可能性がある重大な出来事です。日本としても、対岸の火事として受け止めるのではなく、これまでの安全保障の概念や外交の基本方針を根幹から変えなければならない可能性のある出来事です。今の政治の枠組みではこうした

歴史的な転換点に対応できません。私たち有志の会が支持の刷新の核となってまいります。今後も有志の会のメンバーとの対談をYouTubeで配信してまいります。

<ドンドン情報発信していきます！>

YouTube「衆議院議員福島のおゆき」チャンネルや本誌、Facebook、LINE、FAX、メールマガジンでも国会での活動情報を発信しております。



LINEでの受信をご希望の方は左のQRコードを読み込みご登録してください

衆議院議員 福島伸享事務所

【国会事務所】〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館419号室

TEL 03-3508-7262 FAX 03-3508-3532 メール h19293@shugiin.go.jp